

案件 4

「北摂地域におけるマイバッグ等の持参促進及び
レジ袋削減に関する取組の実施について」

北摂地域におけるマイバッグ等の持参促進及び レジ袋削減に関する取組の実施について

1 背景・目的

北摂地域では、レジ袋の削減とマイバッグの持参促進を図ることを目的に、平成24年度から自治体と事業者（スーパー）が連携して意見交換会やマイバッグキャンペーン等を実施してきました。

今回、更なるレジ袋の削減に取り組むことにより、ごみの発生抑制及び温室効果ガスの排出削減を図る契機とするため、大阪府内で初めて、レジ袋の無料配布中止を主旨とする協定を北摂7市3町とスーパー9社間で締結し、6月1日からレジ袋の無料配布を中止しました。

2 協定の主な内容

- (1) マイバッグ持参率80%を目標
- (2) 各事業者は、レジ袋の無料配布を中止するほか、協定に基づき環境保全活動や地域貢献活動に取り組めます。
- (3) 各自治体は、取組促進のため、定期的に活動状況並びにマイバック持参率及びレジ袋削減率を公表するほか、事業者が実施する啓発活動等を積極的に支援します。

3 市内実施店舗（9スーパー16店舗）

イオン2店舗、イズミヤ2店舗、関西スーパー1店舗、光洋1店舗、ダイエー1店舗、阪急オアシス4店舗、平和堂3店舗、ライフ1店舗、万代1店舗

4 実施前後の市民の主な意見

- (1) レジ袋の有料だと家計の負担になるので、以前のようにエコポイントの付与等でよいのではないかと。
- (2) 北摂一斉に実施する必要はないのではないかと。
- (3) 無料配布中止により出た利益を自治体に収めるのはおかしいのではないかと。
- (4) レジ袋をゴミ袋として使っている方がエコなのではないかと。
- (5) レジ袋の無料配布中止は、スーパーのコスト削減につながっている。それを行政が支援するのはおかしいのではないかと。

5 今後の取組

協定締結自治体、事業者で協定内容の推進を目的に協議会を設立し、協定を締結していない食品スーパー、ドラッグストア、コンビニエンスストアなどへ働きかけを行い、マイバッグの持参促進、レジ袋の削減に取り組むこととしています。